

# 緑窓



青山学院中等部緑窓会会報

第9号

2000年(平成12年)5月1日発行

青山学院中等部緑窓会 発行人 白井 茂

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

電話 03-3409-6649 FAX 03-3498-5387

## 緑窓会の五十周年を迎えて

緑窓会会長 白井 茂 (六期)



一九四七(昭和二十二年)四月、太平洋戦争の焼跡の中で、新しい教育制度(六・三・三・四制)のもとに、青山学院中等部が発足し新入生を迎えました。

三年後の一九五〇(昭和二十五年)年三月、最初の中等部卒業生が巣立ち、その年の十月に中等部同窓会が生まれました。会員数二七六名、初代会長は故三木裕さんでした。

名誉会長と名づけられた、初代中等部長の古田十郎先生が「緑窓会」という名前を付けて下さり、第一回の名簿兼会報も「緑窓」という名で発刊されました。その後次々と役員が交替しながら、名簿・会報の発行、総会の開催などの活動をしてきましたが、その後しばらく休眠状態が続きました。

一九八六(昭和六十一年)年から細々と名簿の整理が再開され、四年にわたる準備期間を経た後一九九〇(平成二年)、緑窓会創立四十周年の記念事業を

盛大に行い、名簿も発刊されました。

このときを起点として、その後「緑窓会の日」が毎年開かれるようになりました。

翌年、会則を現在のものに改正し、会員から四年に一度二千円の維持会費を納めて頂く事になり、会の財政も健全な状態になりました。

一九九二(平成四年)年、会報「緑窓」が新たな第一号という形で復活し、一九九九(平成十一年)年には緑窓会室にパソコン二台を導入しました。高等部同窓会にお世話になっている名簿の管理を自分たちの手で行える様に努力しています。現在会員数は一四、〇〇〇名におよびます。

このように緑窓会が五十年間も続いてこられたのは中等部当局や、多くの先生方、同窓生のご努力によるものと、いままさらながら感謝にたえません。今年新しい千年紀を迎え、来年は

二十一世紀に入ろうとしています。

校友会本部では将来像を求めて「プロジェクト21」という名で模索を始めています。

緑窓会も過去の半世紀を感謝しつつ、今を将来の発展にむけた反省期と位置付けて脱皮し成長していくべきと思います。この時期の緑窓会を預かる者としては、精一杯職務をはたし、任期の間にはせめて新世紀への足がかりだけでも見つけて、次の世代に引き継いでいきたいと思っています。

青山学院創立百二十五周年の昨年定められたスクールモットー「地の塩、世の光」に少しでも緑窓会が近づけたら無上の幸せです。

(中等部の三十年、五十年の記念誌を参考にさせて頂きました。)

## 「古田十郎先生の思い出」

院長 深町 正信



「語りつぐ青山学院中等部の三〇年」(一九七六年)や「青山学院中等部の五〇年」(一九九六年)を見ると、中等部は初代部長の古田十郎先生に始まり、現在の

大村修文高中部長、布施英俊副部長に至るまで、諸先生方により多くの良い種が播かれ、良い伝統が形成されてきたことが分かります。実際に「緑窓会」の会合に出て、皆様と直接に言葉を交わす度にそのことが強く感じ

られます。

一九九〇年五月十二日の「緑窓会の日」の記念礼拝に、古田先生がご老体に鞭打って参加されました。当時、宗教科長であった私が説教を受け持ち、先生は朗々と聖書の朗読をしてくださったことを、つい昨日のことのように鮮やかに思い出します。

また、「緑窓会」主催の別の会合のとき頂いた記念品で、先生が描かれた「葛の花」の絵と先生が昭和五十四年に製作された「三人の博士」をモチーフ

にしたクリスマスカードは、毎年、アドヴェントを迎えるたびに、出して飾っています。古田夫人は、多くの人から敬愛された日本メソジスト教会の赤沢元造監督のご息女でした。一九六五年頃に私が赴任した経堂緑が岡教会で共に教会生活をして、青山学院に連なったのも、不思議な神のお導きであったと思います。

緑窓会五十周年を迎えて

実行委員長 今村和久(十期)

六月三日(土)午後二時より中等部同窓会である緑窓会が開催されます。今年には緑窓会の創立より五十周年目にあたります。即ち一九五〇年に一期生が中等部を卒業し、今年の三月には五十期生が新たに緑窓会員となる記念の年にあたります。今年も例年の「緑窓会の日」に合わせ、緑窓会らしく原点を見つめて密度の濃い祝祭を催します。十四期の野村先生に礼拝の説教をお願いし、青山学院大学管弦楽団に演奏をして戴き、そして大先輩である團伊玖磨先生には御講演の依頼を快く御了承戴きました。團先生が作曲されました、あの「青山学院の歌」(身に受けし神の賜物展ばさんと)を皆様と共に歌う機会も得ようと計画しております。

現在の世相の中でも中等部への進学意欲は衰えることなく維持されているとのことです。キリスト教教育の原点を受け継いでくれていることを、この五十周年を迎えるにあたり改めて喜ばしく思います。そして毎年継続される「緑窓会の日」に全ての会員の皆様方が同じ学び舎に集い、先生方、同窓生の方々と共に語り合いたいと思います。また、十年ぶりの緑窓会員名簿を発行の計画です。六月三日には是非青山学院中等部にお出かけください。お待ちしております。

「創るということ」

團 伊玖磨 (作曲家)



日本を代表する国際的な作曲家として知られ、その作品はオペラ、交響曲、管弦楽曲、合唱曲、独唱曲、劇音楽、童謡など多彩をきわめる。なかでも、オペラ「夕鶴」は上演回数が650回を越え、名実ともに日本を代表するオペラとして定着している。

アサヒグラフの「パイプのけむり」は連載35年を越え、類いまれなエッセイストとしても知られている。

平成11年 文化功労者の顕彰を受ける。

青山学院管弦楽団

私達青山学院管弦楽団は、130名の団員と40年以上の歴史をもつ大学管弦楽団です。指揮者に清水宏之先生を迎え、NHK交響楽団のトレーナーの先生方の御指導の下、春と秋、年2回行われる定期演奏会、年末のメサイア公演の他、各地での依頼演奏や、有志で行われる「交流会」と称する養護学校におけるボランティア演奏など幅広い活動をしてまいります。私達はそれらの活動に向けて、演奏の質の向上をはじめ、広い意味での「良い演奏」が少しでもできる様、日々練習に励んでいます。

私達の奏でるハーモニーが、緑窓会の50周年の記念に彩りを添えられる事に喜びを感じ、一生懸命演奏させていただきます。そして皆様方と音楽を通じて、文字通り「音を楽しむ」空間をつくる事ができれば幸いです。

【主催・共催公演】

- オペラ「夕鶴」  
2000年6月11日(日)午後2時 よこすか芸術劇場  
團伊玖磨指揮、神奈川フィル他。
- Shonan Concert 2000  
7月1日(土)・2日(日)午後2時 よこすか芸術劇場  
團伊玖磨指揮、神奈川フィル他。
- アニバーサリーデー  
10月15日(日)午後3時より神奈川県民ホール全体で開催、吹奏楽演奏(團伊玖磨指揮)、写真展「人間・團伊玖磨」(仮称)、「スペシャルコンサート」(佐藤しのぶ、勝部太他出演)
- 街道(みち)  
辻井喬 團伊玖磨 「二人展」  
10月21日(土) 神奈川県立音楽堂  
團伊玖磨指揮、西友中央合唱団、二期会合唱団他
- おとかさね～室内楽のひとつ  
10月29日(日) 神奈川県立音楽堂  
中村絢子、千住真理子、東京ソリスト他
- オペラ「ちゃんちき」  
12月8日(金)・10日(日) 神奈川県民大ホール  
佐藤功太郎指揮 神奈川フィル他

【参加公演】

- 東京交響楽団第472回定期演奏会  
7月22日(土)午後6時 サントリーホール  
ユベール・スダーン指揮、管弦楽のための「祝典序曲」
  - 特別参加映画特集「映画・團伊玖磨・音楽」  
9月23日～10月20日 初日にトークを予定。  
團伊玖磨+片山杜秀  
横浜市中区若葉町「シネマ・ジャック&ベティ」  
「無法松の一生」、「雪国」など團伊玖磨音楽による作品18本を上映
  - 由紀さおり/安田祥子 童謡コンサート  
11月23日(祝)午後2時 神奈川県民ホール
- 【問い合わせ先】(財)神奈川芸術文化財団 企画課  
TEL. 045-662-5901



## 中等部の記念樹

メタセコイアについて

松江幸雄先生



新校舎が落成した一九六五年、旧校舎にあった樹木も移植した。その時にメタセコイアを記念樹として新校舎の正面に植えた。今では校舎の屋上を越えて亭々と聳えている。

根元には生徒と教師が自然石に彫った小さな碑が建ててある。

メタセコイアは一九四一年に三木茂博士によって石炭の中から発見され、アケボノスギと命名された植物であった。三〇〇万年前に絶滅されたといわれていた植物が、一九四五年、中国四川省磨刀溪にある古い廟の前に「霊木」廟と呼ばれていた樹を南京大学の鄭博士と中国植物学会長胡博士の鑑定により「メタセコイア」であることが判明した。

この植物の種子が一九四八年、当時のGHQを通して、東京大学原寛博士のもとへ届けられ、それを小石川植物園と長野県須坂市、長野市茶臼山公園、目黒区諏訪山の原邸などに播かれた。一九四九年、在米邦人代表福田高氏が種子と苗木を天皇陛下に献上し、吹上

御苑に植えられた。その後さし木によって全国に普及したのである。

中等部の樹は大阪書籍株式会社から寄贈された苗木の一本である。

三〇〇万年を経て、フェニックスのように甦り、全国に広まったメタセコイアは、平和のシンボル樹として、また中等部の発展を祈るにふさわしい記念樹であると思うのである。

元中等部教師（九十歳）

## 一九六四年の出来事

中村三朗先生

一九六四年（昭和三十九年）の東京オリンピック大会を前にした東京都内の道路建設の一環として、放射二十二号（六本木通り）・首都高速三号線が学院敷地内を貫通すること（別図参照）になり、青山学院の土地が二分されることになりました。東京都では、道路用地として幅約三十五m・長さ約八十mで、首都高速はグラウンドより高い位置に建設される計画でした。東京都とのむつかしい交渉の結果、道路

をトンネル形式にして上部をグラウンドとして使えるようになったのは岩波正隆先生のご尽力によるものでした。

この工事により、中等部正門を入った左側に建っていた中等部講堂・宗教館・特別教室棟の取り壊しが余儀なくされました。これらの建物は、東京農業大学の校地を購入した際に残っていたもので、かなり老朽化していたものの中等部が大修理を行ない、講堂・調理室・音楽室・美術室・生物室として使用しました。火災事故や地震による軋み音で肝を冷やした時もありましたが、多くの生徒に親しまれた利用度の高い建物でした。中等部としては懐かしく、大きな役目を果たした建物として感謝しなければならぬと思います。

敷地内貫通の道路新設や青山通りの拡幅に伴うキャンパス内の校舎配置変更が計画されると同時に中等部校舎自体の建て替えも検討され、ほぼ同じ場所に木造二階建てから鉄筋コンクリート四階建て（一部五階建て）の現校舎へ一新されたのは一九六五年（昭和四十年）でした。校舎新築に伴い、中部周辺に田淵清雄先生が苦心して集められていた桜は大学一号館裏手の小高い丘（通称花岡山）周辺に移植されて、今でも春になると美しい花を咲かせ、大学生の憩いの場となっています。

当時の詳しい事については、次の資料に多くの写真と共に掲載されています。

青山学報第四十七号（昭和三十八年六月五日発行）

青山ジュニア・タイムズ（昭和三十八年七月十二日発行）

## 携帯電話は地を覆う

鈴木衣子先生

先日、不思議な若い男女に出会った。二人は手をつなぎ、それぞれにつないでいない方の手に持った携帯電話で、たのしそくに話しながら歩いていった。にぎやかな街の中のことである。

この二人にはさしずめ、いくつの会話の場が存在しているのだろうと、私は考えた。それぞれの電話の相手との場があり、それ以前にまず、手をつないでいるお互いのあいだに沈黙の会話が成り立っているはずだ。あわせて三つということか。私にはややこしくて、よくわからない。

雑草が地を覆うような勢いで、携帯電話ははびこった。それにしても、人はこれほど、電話で話をしたいのだろうか。人はこれほど、話す相手を持っているのだろうか。それとも、寸刻を争うほどの事態が、しきりに起こっているのだろうか。これも私にはわからない。

今日、道で私を追いこしていった人が、大きな声で、携帯電話のむこうの相手に、こう言っていた。「えっ、いないの？ じゃ、今夜電話するって伝えておいて。絶対だよ。伝えてくれたかどうか、あとで電話するからね。じゃあ」

（二〇〇〇年三月）



## 緑窓会五十周年に寄せて

平間健夫先生

一九五〇年（昭和二十五年）の三月に中等部の第一期生が卒業式を終了して自動的に最初の緑窓会員が誕生したわけです。緑窓会という名称は青山緑ヶ岡という地名に因んだもので初代の中等部長古田十郎先生の命名だったと記憶しています。その後緑信会、緑友、緑陰キャンプなどというものも出来て、緑は中等部のスクールカラーという感じになりました。私は同年の四月に太田・窪田・中村・清水・拓（正田）の諸先生と一緒に就任しました。したがって第一期生は全く知らなかったのですが、学校が始まってみると新緑窓会員の諸君が先生達を訪ねて大勢やってくるのです。始めだけかと思ったらそうでもなく、よく顔を出す何人かは私でも名前を憶えてしまうほどでした。それだけ学校や先生達への親しみが深かったのだと思います。あれから正に五十年、十五才で最初の会員になった一期生は現在六十五才、サラリーマンならほとんどが定年を迎えていることでしょう。会員数も一人をとくに越えている筈です。思えば緑窓会も大所帯になったものです。所帯（組織）が小さいときは家族的で温かく独自の雰囲気や伝統が自然に保たれるが、組織が大きくなると中々難しくなるのが一般です。ところが我が緑窓会にあってはそれがかなりうまくいっているよう

に思います。幹事さん達の並々ならぬ働きによって各期やクラスの同窓会が頻繁に開かれていくようです。私も時々お招きをうけ楽しいひとときを過ごさせていただいております。しかし何といつてもその中心になつていないのは年に一回初夏の頃に行われる緑窓会の日です。私はこのイベントに出席する為に少し前から体調を整えるようにしています。何しろ日頃のんびり、ほんやりの生活をしているので、久しぶりに懐かしい同僚の教師や卒業生の皆さんに会うと刺激が強くて後の疲れがひどいのです。又、会員自身又はその関係者の中のタレントによる特別なサーブス公演も実に楽しいものです。これほどの大所帯で毎年このようなイベントが行われているところは珍しいのではないのでしょうか。緑窓会のすばらしい伝統であり実力だと思えます。科学技術の進歩と共に世の中は段々機械化し非人間的になりつつあるようですが、緑窓会のような温かい人間的な組織が益々元気に生き続けてくれることを心より希望して筆を措きます。

## 青山のひと

一期 花柳若菜（花柳寿輔）

母校とは、よく云ったものだと最近、しみじみと感じている。正に母なる舎であると思う。

私は初等部からの生粋の青山っ子であるため、戦中、戦後を通しての青山

の教育の見本として育って来た。（良きにつけ、悪しきにつけ）である。

私が今、身を置いている古典芸能の世界は青山の学園生活とは、まるでかけ離れた、きびしい戒律と、努力と、血のにじむような稽古を強いられる、はげしいお互い同志の戦いの世界である。青山の自由で明るく暖かい生活から、次元の違う場所であると思うが、その中で、初等部からの青山育ちである、団十郎丈や梅玉丈が誠実で清澄な演技と、お人柄に、多くの同業の方々



の信頼を集めていらつしやるのを、見ていると、ああ青山の教育は、間違っていないなかつたのだ！と、大きな安堵を覚える。

私が学んだ当時の青山の教育は、単に頭の良い人間を生むのではなく、「自由」を得るには、その裏でどれだけ己れを律しなければならぬか、自の為に、他の人の為に、どんな行動が出来るかが、その人の価値を決める、という事を、たたき込まれたと思う。

私は、あの当時の青山に学んだ事を、

心から感謝している。と、共に、母なる舎からなかなか乳離れ出来ず、今だに月一回、短大の、卒業生講座に通つて、お友達と、だべるのを何よりの楽しみにしている。

二期 余語悦子

おめでとございます。

花柳寿輔さんが、昨年十二月に、芸術院新会員に認定されました。

## 女子棒高跳 世界記録

四期 中村喜美子

私は、一昨年女子棒高跳（六十、六十四才の部）で、二メートル三六の世界記録を樹立しました。従来の世界記録はマツクレナン（イギリス六十才）が九十六年にマークした二メートル十。

棒高跳を始めたのは五年前（五十七才）。雑誌で女子棒高跳講習会のお知らせを見たのがきっかけです。バーを越えた時の達成感の素晴らしさに、たちまちのめり込みました。

そして五十八才の時、記録会で二メートル三十を跳び、当時の世界記録を樹立しました。さらに二年後、九十八年、六十才の時（六十、六十四才の部）、世界新記録を八回出しました。

以来、全日本マスターズ陸上競技選手権大会で、次々と記録を出し、ベストは第十一回埼玉大会の二メートル三十六。一方、マスターズ陸上との出会いは八十二年（四十四才）。国立競技場



で走りたくて出場、百メートル十三秒六二（四十、四十五才の部）、日本新記録で優勝しました。高等部でインターハイ出場（リレーのアンカー）した時と同タイムでした。この時から二十九ぶりに陸上を再開、以来十七年間ずっと続けています。二年に一度、五大陸を順番にまわって開催される世界ベテランズ陸上競技選手権大会には、五十才から六回連続出場、金・銀・数々のメダルを頂きました。また、シニアのオリンピック・ワールド・マスターズ・ゲームにも参加しています。今までに、世界大会で獲得したメダルは金五個、銀五個になります。そしてメダル獲得だけでなく、大会の度に異文化に触れ、素晴らしい人に出会う、それが私の大きな財産です。

山男の夫は、定年退職を機に、六年前より世界大会と一緒に参加。フルマラソンに挑戦し、毎回完走を果たしています。次の目標は、来年の世界ベテランズ陸上選手権大会。棒高跳で金メダル、二千メートル障害で三度目の優勝を目指します。

## インフォームド・コンセント

八期 関 寛之



国立身体障害者  
リハビリテーション  
センター病院  
副院長

近年、医療に対する不信やトラブルの発生が増加し、その背景には医師と患者の間の信頼関係が失われてきたことが第一に指摘されます。これまでは医師が患者に対して一方的に技術や知識を提供し、医学知識のない患者はそれを甘んじて受けるというシステムでした。患者は人格化された医師にクレームをつけることができず、トラブルが表出することはほとんどありませんでした。市民の消費者・生活者としての権利意識が向上して医療にも対等な契約関係が求められるようになり、インフォームド・コンセントが必要になりました。これは一言で「説明と同意」と訳されます。その内容は医師が患者に分かりやすい言葉で病状や行おうとする治療法の有効性、危険性、その後の病気の経過予測を説明する。また、それに代わりうる別の治療法の有無と有効性、危険性についても説明して患者や家族の同意を得たうえで診断治療に臨むということです。医師と患者の上下関係を否定し、患者の価値観や人間性や生活を尊重する医療を行う

ということですが。

インフォームド・コンセントについて考えるとき、いつも頭に浮かぶのは中等部時代のエピソードです。私も含めたクラスメイト数人がちょっとした先生の言葉にキレてしまって、講堂のベンチを片端からなぎ倒すという暴挙におよびました。通報で担任の伊藤先生がとんでみえて男子生徒を集めて誰が何の目的でやったのか問われました。説諭されて冷静を取り戻した生徒達の名乗り出て謝罪し、ベンチをもとどおりに整頓しました。それで授業に戻ることを許されましたが、馬鹿なことをしたことへの反省と同時に後できつい処分がくるだろうとびくびくしながら過ぎました。しかし、その後の処分はありませんでした。

卒業後何年かたったクラス会の時、伊藤先生にこの事件の顛末をおさるおそれるうかがったら「問題にならなかつたわけないだろ。でも生徒がすぐ名乗り出て、反省と謝罪をし、椅子ももともとおり整頓したんだからそれ以上の処分をする必要はないって主張したら職員会議で処分しないって結論になったんだ。」と関連に話されました。それを聞いたとき私は悪ガキの生徒の人間としての中身を尊重してくれた中等部の教育の真価を知りました。伊藤先生の説諭はインフォームド・コンセントの思想そのもので、医師としての私の哲学のルーツはここにあると確信しています。教育現場の混乱を報道で見聞し

ますが、四十数年前の私達は特別に神の綱で護られていたのでしょうか。B組は今もアクティブなクラスとして続いています。

## 精神障害者地域作業所について

十期 菊地綾子

私は現在、横浜市中区にあります精神障害者地域作業所「ろばの家」の所長をしています。この仕事に就いてから10余年になります。畑違いの私が精神保健福祉士として働く様になつたきっかけは、所属していた教会のボランティア募集に応じたことからでした。

東京山谷・大阪釜ヶ崎と並ぶ日本の三大ドヤ街・横浜寿町への支援を目的としたキリスト教団体のボランティアでした。本来日雇い労働者の町と位置付けられているのですが六千人の住人の多くは高齢者・障害者でその中には少なからぬ精神障害者といわれている人達がいます。日中安心して通える所をというニーズを受け「ろばの家」を作りその職員になりました。仕事の内容は精神障害者の生活支援です。20〜30名の利用者が作業所に通所、軽作業（内職）や自主製品（パン・ケーキ・クッキー作り、手作り石鹸、たわし）などを仕事に、昼食作り・リクリエーション等もプログラムに取り入れて、広く社会に出てゆける様に援助しています。

精神分裂病等の疾患にかかると回復

後も人と接するのが苦手だったり、服薬の影響でだるさが残ったりする方も多く、また社会的偏見の中で生きにくいといったことがあります。「この病気にかかった不幸とその国に生まれた不幸」と、かつて言われた様に「隔離入院」中心の扱いからようやくこの10年ほどでノーマライゼーションへの動きが進み、光があたって参りました。その先駆的働きをしたのが小さな地域作業所でした。そこで人は仲間と出会い、安心して過ごすことができます。衣食住多岐に渡る援助を続けて、いつの間にか私も10年がたっていました。

もう一働きしたいと考えていますので、関心のある方はどうぞお出かけ下さい。

### クリオンと私たち

十二期 島田和子

私達は、師である愛川英雄牧師の下、ひたすら主にある命の道を歩もうとしている小さな群れです。

丁度十年前、愛川牧師の元にフィリピンのクリオン島のハンセン病に苦しむ一人の女性から助けを求め手紙が届いたのが支援活動の始まりです。

ルソン島の南西、バラワン諸島の小さな島のクリオン、人口は一万七千。その大半は強制的にこの島に連れて来られ、教育はおろかその存在自身すら否定され続けてきた元ハンセン病患者の人々。そしてやはり人間性を全く無視され続けてきた少数民族の人々

です。彼等は極貧の中に生活してしました。翌年から子供達への教育支援が始まり、それから幾多の危機の中、日本中のみなさんの善意とクリオン側の堅実な運営によって継続されています。

今年の二月、はじめてクリオン島を訪ねるメンバーに同行する時間を持ちました。

今もハンセン病の後遺症に苦しむ貧しい人々のサナトリウムを訪ねたり、悲しく辛い歴史を残す博物館に行き、言葉に尽くせない苦しみの涙を刻みながら、そこは人の心の温かさや清らかさ、そして安らぎをすら感じずにはいられない空間でした。行く先々の村落の集会では学用品、教科書不足など様々な要望が飛び出します。そういう親や子の思いを大切に、個人のそして島全体の自立に向けて、何とか高校開校まで支援を続けることになりました。

今回の訪問で、現地のクリオン愛の会のメンバーの家族の暖かい衣食住のお世話になり、私にはようやくかかった初めてのクリオンなのに、とてもそうは思えない、懐かしい、安らぎの内によい交わりができました。こう



した交わりはたとえ小さくても困窮、習慣、援助する側、される側等にかかわらずなく育っていけば、どんなに素晴らしい事かを実感をしました。そして、一人だけの支援にとどまることなく大きなビジョンに従ってよかったです。つくづく思い、感謝の気持ちで帰ってきました。

### 日本テレビアナウンサー

四十二期 河合 彩

中等部を卒業して、まもなく九年になろうとしています。その間、長野オリンピックを経て、現在は日本テレビにアナウンサーとして勤めています。

まだ入社一年目という事もあって、レギュラー番組は天気予報だけなのですが、その分単発では色々な仕事をさせてもらっています。その中で私が特に夢中になってしている仕事は、スポーツ中継です。今まで、バレーボール、柔道、サッカー、箱根駅伝、マラソンの中継などを経験しました。そのどれもがとても貴重な経験でした。

アナウンサーというのは、皆さんが考えているよりも地味な仕事です。一つの中継に臨むに当たり、何週間も前から、時には何ヶ月も前から、事前準備を行います。過去のビデオを見たり、取材をしたり、過去のレース結果や記録を資料として整理をしたり。アナウンサーは実際に中継でしゃべる内容の何倍もの資料を事前に用意するのです。

はつきり言って、私が想像していたよりもずっと地道で大変な仕事でした。でも、その苦労に見合う感動を味わえるのもこの仕事の魅力なのです。取材を通して色々な人に出会い、その人の人生を一瞬ですが共有する事ができる、そんな仕事です。

私が学生時代に想像していたアナウンサーという職業とは、実際にはちょっと違いましたが、今私はこの仕事に魅了されています。

### チャンタミットへの献金

八期 門田美智子

「緑窓会の日」の礼拝献金を、タイ国のキリスト教系ハンセン病支援組織であるチャンタミット社に送金をはじめ、早や十年になりました。チャンタミット社の創設者であるカンチャナ女史からは毎回緑窓会にお礼の手紙が届いています。ハンセン病コロニー内の集会所や住居の材料費などに私達の寄附金は使われています。日本では好善社というハンセン病に関わる伝道団体があります。

好善社の歴史は古く、明治の頃に米国女性



宣教師によって創設されたそうです。そして日本国内のハンセン病支援にとどまらず、タイ国のチャンタミット社を設立当初から支援して今にいたっています。日本からはタイ国内のハンセン病コロニーでの栄養、保育そしてワークキャンプなどに看護婦、栄養士、幼稚園教師その他、社会のあらゆる分野の人達が行っています。現在も社員である看護婦さんが障害の残る人々の手足を洗いながら、後遺症の保護と悪化の予防のため地道な指導を続けています。

中等部の前職員の棟居洋先生の兄上の棟居勇牧師（奥沢教会）が今、好善社の理事長をされています。いろいろと活動のお話を伺う機会があり、是非私達もただ献金するだけでなく、肌で感じたいという思いがつのりました。この十年を期に、私達もタイ国のハンセン病コロニーをたずねたいと思っています。次回の「緑窓会の日」に訪問した時の報告が出来ます様、祈っています。



## 「緑窓会の日」の二報告

十一期 岸本英雄

今回の緑窓会の日は11期が中心となり、1と6の期の方々にご協力をいただいで開催された訳ですが、先ず2時からの礼拝は1期生の飯久保氏の司式、17期生の真藤先生のオルガン演奏で進行し、11期の吉崎恵子さんの貴重なお話を伺い意義深い礼拝となりました。その後の茶話会は毎年そうである様なつかしい先生方、あるいは同窓生の方々との久し振りの楽しい会話に花が咲き、4時からジャズシンガーとして活躍中の鈴木史子さん（11期）の素敵なヴォーカルと何とも楽しいマイク真木さん（11期）の歌とおしゃべりと変った楽器の演奏、そしてお二人のジャンルの違う歌手によるデュエット演奏等、盛り沢山のプログラムで会場にきていただいた方は皆さん大いに楽しんでお帰りになった事と思います。



## 高等部50周年大成功

実行委員長 細田 治（十一期）



懇親会司会  
山脇元彌（41期）

この頁の写真は本部広報室より提供いただきました。

「SENTIMENTAL JOURNEY」半日を母校で楽しみませんか。十一月二十日（土曜日）

こんな呼びかけで高等部五十年をお祝いする記念大同窓会が始まりました。

会場を外に持ち出して会費を高くするのは時節柄止めようよ。余程、魅力ある企画を立てないと幾ら安い会費でも中々来てくれないなあ。何しろ学校に対するお祝いなのだから総て青学の中で完結させようか。そんな話から大同窓会の企画検討がスタートしたのが一年半前の事だった。

学校主催の式典への参加、C.W.ニール氏の講演会、海外旅行が当たる抽選会、美味しい食事、こんな盛り沢山で会費は七、〇〇〇円。でもこの企画では一、〇〇〇名以上の動員を要するからが動員部会の正念場。一番多く動員した期には動員大賞を、夫婦親子の出席には記念品、とにかくゲーム感覚で楽しみながら参加人数を確保しよう。

昨年六月、緑窓会の日のご貴重な時間を拝借してPRさせて頂いた事もこんな理由から。

お蔭様で当日はご招待を含め一、三

〇〇名のご参加を得て懇親会会場は大ブレイク。

赤字にもならず、更に予想以上の会員からのお祝い金を高等部にお渡しする事ができた。大勢の実行委員の努力と皆様のご協力に感謝している。

今年も緑窓会の周年事業の年。楽しみにしている。フレイー・フレイー！

## 村上 清五郎先生の思い出

七期 小浅邦子

村上先生ご逝去の報に接し、遙か彼方に過ぎ去った懐かしい中等部時代を思い出しています。私が、昭和28年、中等部に入学した、七期一年C組の担任が村上清五郎先生でした。

小学校を卒業し、おどおどと臨んだ入学式で歌唱指導して下さった斎藤美佐子先生の素敵なお声の印象が強く、申し訳ないことに、我が担任、村上先生の第一印象が思い出せません。担任してくださった一年を通じて、あまり冗談も言わず、大声を上げて生徒を叱る事もなく、穏やかで、心やさしく、何時もにこやかに生徒に接してくださいました村上先生でした。テストの結果に関係なく、卒業まで数学が嫌いにならなかったのも、そして今でも方程式を解くのが好きなのも、村上先生のご指導の賜物と考えています。

村上清五郎先生のご冥福を心から、お祈り申し上げます。

太田先生の傘寿を祝う会

九期 松野富久子

一月十一日、太田先生の傘寿をお祝いして、九期B組のクラス会がホテルニューオータニの一室で、二十四人の懐かしい仲間が集まって、六時より開催されました。

いつもお元気な先生を開んで、笑い声のたえない会となりました。これだけの人が集まると、そこは、もう昔の中等部。先生は笑いばなし、特に、話が、みんなで参加した、大丸温泉の合宿や、大穴でのスキー、等などになる



と、思い出話に、話はつきません。

これも、太田先生のご指導を、あの多感な時期に受けたからであり、本当に我々は幸せで、誇りにさえ思っています。

私共も、いつのまにか、還暦まじかになってしまい、このような会が継続することがこれからは、とても意義深いこととなっていくことと思います。

どうか、先生、益々お元気で、またお目にかかれる日を、楽しみにいたしております。

覚えてますか

カレツジソング

一、紫におう西郊の森

夢さめやらぬ緑が岡の

霞にそびゆ我が白亜城

春光うららに今さし染めて

常磐木の色映ゆる

我等が母校青山

二、我が若き日のもゆる紅

つどう我等が学びの園に

いや高き望みつきぬ喜び

仰ぎ見る夏の日の影長く

同期会のお知らせ

7期

私達7期生は2000年～2001年に60才になります。  
それを記念して11月半ば頃に還暦の会を開きたいと思っています。  
日時は決定次第お知らせ致します。  
7期 倉持皓子

21期

日時：6月3日(土)  
PM6時から  
場所：セピア (渋谷・宮益坂)  
Tel：3406-1414  
会費：4,000円

28期

日時：6月3日(土) 6:00PM～  
緑窓会終了後  
場所：卯の刻 南青山店  
Tel：3400-2618  
会費：¥8,000  
詳細については、おって御案内をお送ります。  
皆様お誘い合せの上御参加下さい。  
幹事：神通豊一 Tel (3400)8285  
安川 恵 Tel (3583)7303



# 活躍されている同窓生

昨年各期の役員の方に、卒業後活躍されている同窓生の情報を呼びかけました。今回集まったアンケートを元にここに載せました。

今回掲載できなかった分は、折々に紹介していきたいと思います。これからも情報をお待ちしています。

古典芸能 (歌舞伎)	13-D	井上 新也 (尾上松助)	19-B	橋 石橋 (中村泰士) 寄席文字	
	13-D	河村 順三 (中村梅玉)	24-B	川上 淳 画家	
	13-E	堀越 夏雄 (市川團十郎)	32-C	堀川理万子 画家	
	17-C	井上 敬三 (大谷桂三)	ミュージック	旧中	團 伊久磨 作曲家
	22-A	守田 寿 (坂東八十助)		旧中	服部 正 作曲家
	25-A	片岡 幸一 (片岡十蔵)		2-F	海野 義雄 ヴァイオリニスト
	27-B	中村 栄一 (中村福助)		2-F	中村 邦子 音楽家
	28-A	片岡 二郎 (片岡亀蔵)		3-B	徳丸 聡子 ピアニスト
	32-A	中村 幸二 (中村橋之助)		3-E	鍋島 元子 チェンバリスト
	34-A	片岡 康雄 (片岡孝太郎)		4-B	小野崎 純 チェロ奏者
		5-A		釜薙 弘 ミュージシャン (かまやつひろし)	
		5-F		滝沢 達也 ピオラ奏者	
		7-A		秋山 和慶 指揮者	
常盤津	14-D	常岡 薫 (常盤津文字大夫)	7-B	渡辺 栄吉 (筒美京平) 作曲家	
	19-F	藤堂誠一郎 (常盤津文字蔵)	10-E	荒木 一郎 作曲家	
	28-F	鈴木 淳雄 (常盤津文字兵衛)	11-F	鈴木 史子 ジャズ歌手	
	30-C	鈴木 雅雄 (常盤津兼大夫)	12-D	園 広昭 作曲家	
狂言	39-A	山脇 祥子 (和泉祥子)	13-D	川崎 燎 ギタリスト	
	41-C	山脇 元彌 (和泉元彌)	14-B	清瀬 雅子 オルガニスト	
能楽	6-D	小川 明宏 観世流	23-B	松居 直美 オルガニスト (パイプオルガン)	
	10-C	小川 博久 観世流	23-B	佐々木 淳 オペラ歌手	
地唄舞	28-C	三枝 裕政 (音枝輝紀)	25-C	井上 圭子 オルガニスト (パイプオルガン)	
日本舞踊	1-E	花柳 若葉 花柳流家元 (花柳寿輔)	28-A	清水 永二 ドラマー	
	8-E	堀越 豊 猿若流 (猿若清三郎)	30-A	矢崎 明子 オペラ歌手 (藤原歌劇団)	
邦楽 (長唄)	13-F	遠藤親太郎 (締音家三郎助)	44-B	斎藤 朋子 歌手 (トーコ)	
	16-E	柞家 秀幸 (柞屋吉之丞)	45-B	古屋 建志 歌手 (ドラゴンアッシュ)	
	21-D	柞家 弘和 (柞屋勘五郎)	俳優	1-C	大月ウルフ 俳優 (俳協バレエスタジオ)
	22-B	柞家 吉彦 (柞屋直吉)		5-F	林 昌子 女優 (八木昌子)
文化界	旧中	村上 元三 文学者、作家		7-D	志賀 洋子 東京演劇アンサンブル (津金洋子)
	旧中	大岡 昇平 文学者、作家		8-C	遊佐 直温 劇団「昴」(土屋直温)
	2-A	中村 祐子 著作家		9-C	策畑 美樹 劇団「民芸」(水原英子)
	2-E	小柳 玲子 詩人		10-E	竹脇 無我 俳優
	3-F	山脇 恭 著作家		11-C	真木壮一郎 俳優・歌手 (マイク真木)
	15-E	山内 美郷 エッセイスト		14-E	宇都宮雅代 女優
	20-F	中平 真美 著作家		23-C	石村 知子 女優 (野口知子)
	22-D	長倉 淑乃 作家		30-D	福田 浩子 「彩の会」(京極彩子)
24-A	山田美保子 エッセイスト	31-E	高橋 克典 俳優・歌手		
美術	旧中	東郷 青児 洋画家	31-F	北村 由紀 女優	
	旧中	和田 香苗 洋画家	32-A	藤尾 美紀 タレント	
	1-A	久保田寿子 (柴田) 書家	舞台美術	旧中	伊藤 意朔 舞台装置家
	3-D	佐久間尊経 画家		旧中	佐藤 信 劇作家
	7-A	赤祖父悠利 画家		8-A	鳥居 照子 舞台衣裳
	8-A	山本美美代 (小池美美代) 陶芸家		21-B	黒須はな子 舞台美術
	8-D	脇田愛二郎 彫刻家		23-C	須田 智美 舞台芸術
	8-D	竹内 啓 画家			
	8-E	土橋 恵子 洋画家			
	9-F	湯村 輝彦 イラストレーター			
17-B	夏目房之助 漫画家				



## 毎回ご紹介しておりますAGグッズ!!

今回は創立125周年を期に“青学オリジナルワイン”を企画しました。  
醸造家としてフランス政府より農業功労勲章を叙勲された塚本俊彦氏の名門ルミエールのワインに日本各地に点在する古い洋館を描いて人気の画家島田暉生氏の原画による間島記念館のラベルを付けました。

ひとたび口に含めば愛校心が身体中に湧いてきます。

このワインの純益は青山学院維持協力会への献金とさせていただきます。



### ●購入方法

直接(株)ルミエールにお申し込み下さい。宅急便でお届けします。

◆ワイナリーから直接、宅配便(着払い・送料別途)でお届けします。

化粧箱入	2本入セット	3,000円
“	6本入	9,000円
“	12本入	18,000円

(価格は全て税別)

\*一回のご注文が12本以上の場合、宅配便送料は無料です。

●ご注文は **TEL 03-3222-8860**  
**FAX 03-3265-0066**

## 会 計 報 告

### 平成12年度収支予算案 (平成12年4月1日～平成13年3月31日)

平成11年12月4日  
青山学院中等部緑窓会

科 目	支 出 の 部			収 入 の 部		
	金 額	平成11年度		科 目	金 額	
		平成12年度	当初予算		補正後	平成12年度
会報作成費*4	1,200,000	850,000	850,000	入会金*1	825,000	825,000
会報発送費*5	1,500,000	1,250,000	1,250,000	維持会費*2	550,000	550,000
名簿管理費	100,000	200,000	200,000	維持会費*3	2,400,000	2,400,000
事業費*6	600,000	500,000	910,542	受取利息	30,000	50,000
事務用品費	70,000	70,000	70,000			
会議費	30,000	30,000	30,000			
交通費	130,000	130,000	130,000			
印刷費	40,000	40,000	40,000			
水道光熱費	12,000	12,000	12,000			
通信費	80,000	80,000	80,000			
慶弔費	50,000	50,000	50,000			
雑費	50,000	50,000	50,000			
予備費*7	200,000	500,000	500,000			
小 計	4,062,000	3,762,000	4,172,542	小 計	3,805,000	3,825,000
当期収支差額	-257,000	63,000	-347,542			
次期繰越金	8,377,570	9,045,112	8,634,570	前期繰越金	8,634,570	8,982,112

\*4: 「緑窓」50周年記念号増頁  
\*5: 上記を郵送するため重量増を考慮  
\*6: 「緑窓会の日会計」への補填分  
\*7: 事業費不足分、名簿発行準備等を考慮

\*1\*2: 新入会員 275名分  
\*3: 一般会員1200名分

### 1999(平成11)年度収支計算書

青山学院中等部緑窓会

自 1999(平成11)年4月1日  
至 2000(平成12)年3月31日

科 目	支 出 の 部		収 入 の 部	
	科 目	金 額	科 目	金 額
会報作成費	537,750	会費収入		
会報発送費	1,072,072	1999年度入会金		
名簿管理費	166,908	278名	834,000	
事務費	92,513	維持会費	4,800,500	
会議費	28,566			
交通費	394,640			
印刷費	59,541			
水道光熱費	12,000	諸収入		
通信費	91,374	預金利子	15,764	
慶弔費	236,590			
雑費	57,052			
備品費	409,500			
緑窓会の日補助金	919,542			
(小 計)	4,078,048	(小 計)	5,650,264	
次期繰越金	5,287,269	前期繰越金	3,715,053	
合 計	9,365,317	合 計	9,365,317	

青山学院中等部緑窓会役員名簿

役名	期	氏名	旧姓	役名	期	氏名	旧姓	役名	期	氏名	旧姓
顧問	1	飯久保廣嗣				塩坂 暁子	永井			高橋 知也	
顧問		余語 悦子	宮治		14	松田 百代	三浦		31	井伊 長史	
		岡田 孝子	中村			黒沼 健				榊原 貴子	鈴木
		木畑 昌長				山形 政弘			32	松吉 寛子	大森
評議員	2	外崎 宏司			15	伊藤 正道				西村真知子	柳
		原田賀世子	山下			吉田 恵子	原田		33	竹沢 美穂	桢口
		高砂 雄一				諸熊とも子	土井			木村実花子	今井
		松本 紀子	野見山		16	大野 恵子	村上		34	竹脇 清子	
評議員	3	飯村 肇				脇田 清司				吉野 衣織	鹿島
		阿部 義夫			17	真藤 純一			35	藤木 優子	和田
		上原 房子	須郷			高口 恒美	村田			戸村 大助	
		三上 良治				山田 明男			36	宮永 えり	松澤
評議員	4	志賀 俊也			18	小平 昌邦				斎藤 紀夫	
評議員		岩嶋恵美子	徳永			西本由里子	高橋		37	関 景介	
		黒板美瑛子			19	竹内 利明				能勢 千恵	清水
評議員	5	堅村美恵子	木田			西 千佐子	石塚		38	深谷 隆介	
		柴田加代子	渡辺		20	古野 啓子				池谷 幸子	
		吉川 勝久				高木那津子	岩崎		39	斎藤 克彦	
		三上信二郎			21	柞家 弘和				土屋 純子	
会長	6	白井 茂		運営委員		寺野 尚子	戸田		40	栗城 裕明	
会計		岩永 晴美	谷村	運営委員		山中 郁子	狩野			山下 晶子	
運営委員		三木 勝美	村田		22	平森 均			41	地主 武史	
	7	山本 秀雄	郷	運営委員		木村眞喜子	秋山			森下亜希子	
副会長		倉持 皓子	山根	運営委員		富士野ゆかり	佐々田		42	渡邊 莊	
運営委員		磯野 博子	手塚		23	増田 幹子	笠原		43	濱本 健吾	
運営委員	8	鳥居 照子				新海 潤子	飯島		44	高木 麻衣	
運営委員		門田美智子			24	神保 行宏			45	篠原 大	
会計	9	王尾 京子				佐藤久美子	福永			古池 律子	
		永島 嘉昭			25	上条 浩之				相川 恵	
		松野富久子	福田			田部井圭子			46	加藤 惣太	
副会長	10	今村 和久			26	安藤 直道				石崎 舞	
運営委員		中野 凱美	窪寺			渡会友佳子				鈴木 順子	
運営委員		梅津 安子	山本		27	海老澤敦子	海老沢		47	有坂 太一	
評議員	11	岸本 英雄				山田美奈子	石堂			有我 菜穂	
		熊沢 祐子	鴨志田		28	鈴木 淳雄			48	角山 洋平	
会計監査		木村 敏夫				仁科 広美				酒井しのぶ	
	12	荒井 宏二				阿部 直子	南		49	鈴木 敦	
運営委員		小野 玲子	実宝		29	木村 昌一				早川まりえ	
運営委員		村井 二葉	岡			小田 文信					
	13	中川 光子	杉山		30	藤本香緒里	林田	学校連絡		石出 道雄	

# 名簿発刊

## のお知らせ

前回同窓会名簿を発刊してから早や十年たちました。高等部へ進まず他校へ行かれた同窓生も多数いらつしやいます。名簿を開き昔の仲間、同窓生の消息にしばしタイムスリップして、中等部時代を思い出していただきたいと思ひます。

同窓会名簿は予約販売制とさせていただきます。予め購買部数を把握する事で、無駄な部数の印刷を防ぎたいのです。

この為に、名簿購入の申込を兼ねましたハガキと郵便払込用紙を同封させていただきます。購入ご希望の方は、早期にお手続きをお願いいたします。

- 頒布価格 一、五〇〇円
- 頒布時期 十二月

### — お願い —

名簿発刊するためには、確実な住所が必要で、変更のある方は、緑窓会室までお知らせください。

TEL/FAX 03・3498・5387

## 訃報

左記の方々が一眠されました

1期	2期	3期	4期	6期	7期	8期	9期	10期	11期	12期	14期	15期	17期	29期	38期	43期	46期															
三浦健彦	貫名貞夫	阿部美和	久保孝美	貫名允	西願寿恵子	松木恵子	武島孝一	福島晃江	菊地文江	榎節子	米山一雄	根来盛国	和田裕子	和好清子	丹野善之	頭山おき子	松崎元季	真崎寛子	江沼信寛	貝沼正信	直江枝瑞	東野真知子	西澤真知子	小池万理子	岩田義人	榎本万理生						
'97'99	'97'99	'99'00	'91'00	'99'91	'98'96	'99'99	'97'99	'99'99	'99'00	'99'99	'99'99	'99'99	'99'99	'99'99	'99'99	'99'99	'99'99	'99'99	'99'99	'99'99	'99'99	'99'99	'99'99	'99'99	'99'99	'99'99	'99'99	'99'99	'99'99	'99'99	'99'99	'99'99
11	6	8	12	2	1	9	10	10	9	1	6	12	12	6	10	9	1	11	11	11	6	9	11	4	6	4	12	4	6	4	12	4

(以上敬称略)

謹んで哀悼の意を表します。

## 中等部便り

★二〇〇〇年度人事

- 部長 大村修文
- 副部長 布施英俊
- 教頭 奥津光佑
- 教務主任 小田井孝
- 指導主任 朝野圭三
- 宗教主任 石丸泰樹

★異動

就任 林 謙二先生  
国語科教諭として教壇に立たれます。

★訃報

一九四八年より一九八一年までの三十三年間、数学教諭として教壇に立たれていた村上清五郎先生が、一月に召天されました。東北訛りで訥々と話された授業が懐かしく思います。

★二〇〇二年度より

数年間にわたって検討されてきた左記の事が実施されます。

\*週五日制

\*入学試験科目四科目

(国語・算数・社会・理科)

★学院新キャンパス

既に各報道で御存知の事と思ひますが、昨年度末に左記の通り新日本製

鐵株式会社相模原研究所跡地について、正式に売買契約が締結されました。

\*住所 相模原市淵野辺

五一〇〇一

\*総面積 一三九・二二二m

(四二二五七坪)

(現青山キャンパス 約三六〇〇坪)

\*総額 一六八億円

## 事務局便り

会員の皆様やボランティアでお手伝い下さる各期の委員の方々のご協力により年一回の「緑窓会の日」も定着し、本年は記念すべき第十一回目をむかえる事が出来ます。コンピュータや事務機器を導入し、会費納入のチェックや名簿管理も日々充実してまいりました。ご協力に感謝し今後共若い期の方々のお手伝いも期待して居ります。又本年は四年に一度の会費納入の年でございますので皆様よろしくお願ひ致します。緑窓会室は毎週火曜日の一時から四時半まで開けておりますので、是非皆様のご参加をお待ちして居ります。住所変更などはファックスにても常時受け付けて居りますのでご連絡下さい。

昨年同様十一月四日(土)・五日(日)、中等部文化祭に於いて緑窓会の部屋を設ける事になって居りますので、お誘い合せの上お立寄り下さい。